



九州・沖縄発！最新の農業技術

～九州・沖縄地域の産学官から最新の技術シーズを一挙に紹介～

アグリ技術シーズセミナーは、農林水産・食品分野で、新たな産学官連携を推進するため、最新の研究情報の発信を行うセミナーです。全国各地のキラリと光る最新の技術シーズを集め、一挙に御紹介します。

第2回セミナーでは、九州・沖縄地域の産学官の研究機関から、最新の技術シーズを御紹介します。

なお、セミナー当日は、特別講演において、産学官連携・異分野融合に取り組む(株)東洋新薬様より、その戦略と事例について御紹介頂きます。また、セミナー終了後には、講師やコーディネーターとの個別相談会を開催します。

参加費は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：平成25年12月16日(月) 13:30～17:30

会場：TKP東京駅前カンファレンスセンター ホール5A
(東京都中央区八重洲1-5-20 石塚八重洲ビル5階)

参加費：無料(個別相談会も無料)

※配布資料の準備の都合上、参加希望の方は12月12日(木)までに事務局までお申し込み下さい。
なお、会場に余裕がある場合に限り、当日連絡なしでのご入場も可能です。

主催：(公社)農林水産・食品産業技術振興協会、農林水産省

共催：九州バイオリサーチネット、沖縄農業研究会

プログラム

【挨拶】 (公社)農林水産・食品産業技術振興協会 13:30～13:35

【特別講演】

「産学官連携・異分野融合による研究開発戦略とその事例」 13:35～14:15
鏑田 仁人 氏 ((株)東洋新薬 素材開発部 機能開発課 課長代理)

【シーズ紹介】

1)「沖縄もずくフコイダン等を活用した健康食品の開発とナノリポソーム化技術の活用」 14:15～14:40
武田 真治 氏 (金秀バイオ(株) 研究開発部 主任)

2)「宮崎県産ブルーベリー葉の商品開発と事業展開」 14:40～15:05
亀長 浩蔵 氏 ((株)なな葉コーポレーション 代表取締役)

3)「青果物の長距離輸送技術 ～光殺菌技術と新しい輸送パッケージ『ゆりかご』の開発～」 15:15～15:40
馬場 紀子 氏 (福岡県農業総合試験場 食品流通部 流通加工チーム長)

4)「水産物の価値を高める品質保持・高品質化技術研究」 15:40～16:05
木村 郁夫 氏 (鹿児島大学 水産学部 教授)

5)「近赤外分光法を用いた熱帯産農産物の品質評価システムの開発とその応用」 16:05～16:30
平良 英三 氏 (琉球大学 農学部 助教)

6)「電解機能水を用いた食品加工場の衛生管理方法の検討」 16:30～16:55
紙谷 喜則 氏 (鹿児島大学 農学部 准教授)

※特別講演、シーズ紹介の概要は裏面をご覧ください。

【個別相談会】

16:55～17:30
共同研究形成等に向けた連携相談、技術相談に講師やコーディネーターが対応致します。
(セミナーにおいて紹介する技術シーズに関するご相談以外にも、農林水産・食品分野の研究に関するご相談全般に対応致します)

【特別講演の概要】

「産学官連携・異分野融合による研究開発戦略とその事例」

鏑田 仁人 氏 ((株)東洋新薬 素材開発部 機能開発課 課長代理)

(講演内容)

私たち東洋新薬は、企業理念の一つとして、「地域経済の活性化など様々な事業活動を通じて積極的に社会貢献に取り組み、世界の人々の健康で活力ある社会への寄与に努める」ことを掲げている。その具体的な活動として、産学官連携・異分野融合による地域経済の活性化に取り組み、より魅力的な商品づくりを推進している。今回の講演では、その事例のいくつかを紹介する。

開発事例 1) 産学官連携の取り組みにより開発された「すいおう(甘藷若葉末)」のブランド化

2) 佐賀大学発のブランド野菜「パラフ®」を配合した化粧品の開発

3) さが機能性・健康食品開発拠点(徐福フロンティアラボ)を通じての地域資源の活用:佐賀県固有の香酸柑橘類「ゲンコウ」

【シーズ紹介の概要】

①「沖縄もずくフコイダン等を活用した健康食品の開発とナリポソーム化技術の活用」

武田 真治 氏 (金秀バイオ(株))

(発表内容)

沖縄発健康食品としてモズク由来フコイダンという機能性多糖を例に、これまで行った大学との共同研究と産業技術総合研究所との共同開発技術「食品成分のナリポソーム化技術」について紹介する。

(マッチングの方向性)

- ◆ 共同研究相手を見つけない
- ◆ シーズを製品化する相手を見つけない

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 共同研究機関 ◆ 製造業 (食品製造業等) ◆ 商社

②「宮崎県産ブルーベリー葉の商品開発と事業展開」

亀長 浩蔵 氏 ((株)なな葉コーポレーション)

(発表内容)

平成15年から平成20年にかけて宮崎大学・宮崎県・県内企業が実施した「宮崎県地域結集型共同研究事業」で認められたブルーベリー葉の研究成果をもとにした商品開発・販路開拓・産地化への取り組みを紹介する。

(マッチングの方向性)

- ◆ シーズを製品化する相手を見つけない
- ◆ 収穫機械の開発業者を見つけない
- ◆ 販売促進のためのPR機関を見つけない

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (食品製造業等) ◆ 収穫機械開発業者

③「青果物の長距離輸送技術～光殺菌技術と新しい輸送パッケージ『ゆりかご』の開発～」

馬場 紀子 氏 (福岡県農業総合試験場)

(発表内容)

イチゴやイチジクなど果肉が柔らかい果実は輸送中に傷やカビなどの品質低下が起こりやすい。そこで、輸送時の品質保持技術として、赤外線と紫外線を併用した光殺菌技術および宙吊り型容器「ゆりかご」を開発した。

(マッチングの方向性)

- ◆ 技術移転先を見つけない

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 共同研究機関 ◆ 農林漁業関係者
- ◆ 輸出に取り組む機関

④「水産物の価値を高める品質保持・高品質化技術研究」

木村 郁夫 氏 (鹿児島大学 水産学部)

(発表内容)

水産物の冷凍保蔵では、タンパク質変性と血合肉変色により商品価値を失う。本研究では、魚肉に元々含まれているATPのタンパク質変性抑制機能の利用で、冷凍保蔵後も高品質刺身を提供できることを明らかにした。

(マッチングの方向性)

- ◆ 技術移転先を見つけない

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (冷凍水産物製造業等) ◆ 農林漁業関係者

⑤「近赤外分光法を用いた熱帯産農産物の品質評価システムの開発とその応用」

平良 英三 氏 (琉球大学 農学部)

(発表内容)

近赤外分光法(NIR法)は農産物の非破壊成分評価法として広く利用されている。発表では、サトウキビの品質評価に採用されているNIRネットワークシステムならびにマンゴー生産への応用について紹介する。

(マッチングの方向性)

- ◆ 共同研究相手を見つけない
- ◆ 技術移転先を見つけない

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 共同研究機関 ◆ 製造業 (食品製造業等) ◆ 農林漁業者

⑥「電解機能水を用いた食品加工場の衛生管理方法の検討」

紙谷 喜則 氏 (鹿児島大学 農学部)

(発表内容)

機能水は水に物理的な作用を加えることで得られる「水」であり、色々な分野での使用が広がっている。今回は電解機能水を薬剤(洗剤・殺菌剤)の代替として食品加工場などの衛生管理に使用可能か検討したので紹介する。

(マッチングの方向性)

- ◆ 共同研究相手を見つけない

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (食品を扱う全ての業種)

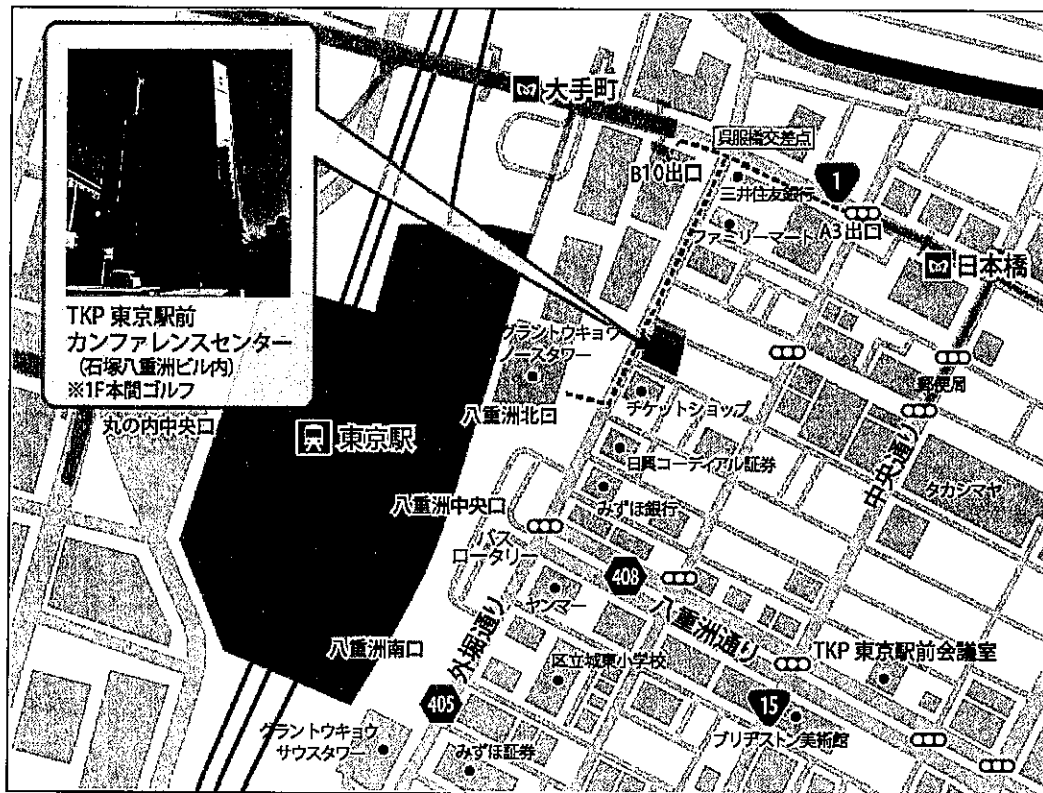
◆地域産学連携支援委託事業とは？

農林水産省が、農林水産・食品分野において産学連携による研究活動を活性化するため実施している事業です。全国に農林水産・食品分野の高度な専門知識を有する「コーディネーター」を配置し、研究計画の作成等、様々な支援を行っています。事業の概要や相談窓口は、ホームページ「<http://agri-renkei.jp/>」をご覧ください。

【事務局】(公社)農林水産・食品産業技術振興協会
イノベーション事業部 川畑・酒井・佐藤
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階
TEL:03-3586-8644, FAX:03-3586-8277,
E-mail:renkei-seminar@jataff.jp

平成 25 年度地域産学連携支援委託事業 第 2 回アグリ技術シーズセミナー
 九州・沖縄発！最新の農業技術 ～九州・沖縄地域の産学官から最新の技術シーズを一挙に紹介～
 (12/16 開催)

会場「TKP 東京駅前カンファレンスセンター」案内図



平成 25 年度地域産学連携支援委託事業 第 2 回アグリ技術シーズセミナー
 九州・沖縄発！最新の農業技術 ～九州・沖縄地域の産学官から最新の技術シーズを一挙に紹介～ (12/16 開催)
 参加申込書

宛先：(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会 イノベーション事業部
 E-mail: renkei-seminar@jataff.jp 又は FAX: 03-3586-8277
 (E-mail の場合、必要事項をテキスト入力頂ければ結構です。)

氏 名： _____

勤務先： _____

部署・役職： _____

住 所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

E-Mail： _____

個別相談会希望： (希望される方は○印をご記入下さい)

個別相談内容 (個別相談会へ参加を希望される方は簡潔かつできるだけ具体的にご記入下さい)：

※申込書の取り扱いは本セミナー実施に係る業務にのみ限定し、目的以外には使用致しません。